

令和4年度 有馬幼稚園 外部評価報告書

評価委員：中野耕佑（委員長）、宮崎弘次（副委員長）、矢川春文委員、深山健太郎委員、中多宏之委員、坂野泰士委員、森功次委員、宇多清二委員、吉岡輝元委員、鈴木一也委員

報告書作成者：鈴木一也委員

評価時期 令和5年1月

1 重点目標の評価

重点目標1

- ・地域で子どもたちを見ていると言葉遣いが気に掛かる。SNS やゲームで知った言葉をそのまま使っているように思える。子ども時代からもっと本に親しませてもらいたい。

重点目標2について

- ・園内で今年度、力を入れて取り組んだことが保護者にも伝わり、多くのプラス評価につながったのではないかな。

重点目標3について

- ・新たに運用が始まった「ルクミー」は、どのくらいの頻度で発出するか、そして、フィードバックができるか、ということを考えながら活用を図っていくとよいのではないかな。
- ・情報がデータだけだと相手を読まずに終わってしまうことが起きやすい。データで情報を出すときは、「(情報を) 送りましたけど読みましたか？」の確認をしていくとよい。

2 今後の改善に向けた意見

- ・記述にあった外国籍の保護者へのサポートについては、保護者同士で助け合う自助努力が基本であると考えている。諸外国に出た日本人もそのようにして道を切り開いている。PTA を通して助け合いの輪をつくり、広げていくことが望ましい。今後は、行政が対応すべきこともあるのではないかな。

3 その他の意見

- ・次年度、有馬小学校開校150周年・有馬幼稚園開園78周年を控えているが、学校行事や授業に支障のない範囲で周年行事に関わる催しを子どもたちはもちろん、先生方にも楽しんでもらいたい。